

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回桜並木学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 8 年(2026 年) 6 月 2 日 (火) 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		並木中学校会議室 B		
事務局 (担当課)		生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、丸山 美知江、齋藤 樹恵、店曲 孝仁、 古川 朋子、南形 美咲、飯泉 法男、木村 徳一、 岡田 昌大、伊藤 文弥、梶野 裕子、有永 三洋、 永川 淳子、樽味 幸恵、根津 陽子、山中 真弓、 田崎 淳一、中久保 郁美、永田 孝男、木村 勝平、 並木中 校長：渡邊 聡 教頭：池邊 晃子 教務：横山 賢裕 並木小 校長：原野 智子 教頭：大久保 正美 教務：宮内 修子 桜南小 校長：奥沢 志乃 教頭：大津 裕明 教務：三村 弘樹		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課 課長：澤頭 由紀子 参事：山口 健次 係長：松橋 千栄		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議 テーマ「地域と学校で連携してできること」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 挨拶 4 説明・報告事項 (1) 令和 8 年度つくば市コミュニティ・スクール重点事項について (2) 令和 7 年度地域と学校連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の 連携事業予算計画について			

	5 会長・副会長の選出 6 協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 熟議 テーマ「地域と学校が連携してできること」 (3) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について ・諸連絡等 7 閉 会
	<審議内容> (開会前) ・資料を確認する。 ・本日の会議は、つくば市の附属機関であり、会議録に関しては、つくば市教育委員会ホームページにて公開する。 1 開会 自己紹介 2 任命書交付 机上の任命書を確認いただく。 3 挨拶 4 説明・報告事項 ・令和8年度つくば市コミュニティ・スクール重点事項について 生涯学習推進課より説明。CSコーディネーターの紹介（根津委員、樽味委員、山中委員） ・令和7年度地域と学校連携事業決算報告書及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について 【並木中】 ・昨年度は並木まつりを実施し、交通整理ボランティアや出品に伴う消耗品等の購入などに活用した。今年度は入口のレリーフの汚れの修復や並木まつり、関連、奉仕作業の消耗品、講師・ボランティアへの謝礼に等に充てる

【並木小】

- ・昨年度はサイエンスマジックショーでの講師謝礼や環境整備に伴う消耗品
- ・備品等の購入、ボランティア募集チラシの作成代などに充てた。今年度は並木まつりや奉仕作業での消耗品、チラシ作成代、学習サポート等での謝礼で活用する。

【桜南小】

- ・昨年度は桜南フェスタや奉仕作業、ボランティア等に関わる消耗品、チラシの作成などに活用した。今年度は桜南フェスタ、ボランティア関連、チラシ作成等に充てたい。

5 会長・副会長の選出

会長に南委員、副会長に根津委員を選出する。 → 承認

6 協議

(1) 学校運営の基本方針

- ・グランドデザインの説明（学園長 渡邊委員より）

つくば市の教育大綱をもとに各学校取り組んでいる。自ら未来をひらく力の育成に取り組んでいる。児童生徒の地域への関わりが大事である。「知」「徳」「体」を大切にし、人的・環境資源の活用やICTの活用を進めたい。人間関係作り、学園フォーラム、情報モラル、学習指導の充実も図りたい。

働き方改革・・・空き時間等に休憩時間を取るよう設定

月2回の定時退校日の設定・特色ある教育活動

【桜南小】

- ・児童が学びに向かう主体性を目指す。
- ・個性を受け止め、得意なことは伸ばし、苦手なことは支援する。
- ・知徳体のバランスを整える。
- ・教師の授業力の育成を進める。
- ・NIE教育の指定を受けたことによる研究の推進をする。

- ・登下校時の見守りボランティアの活用をする。
- ・町探検、プール学習等でのボランティアを募る。
- ・桜南フェスタの開催に向けた検討を進める。

【並木小】

- ・児童が笑顔で生き生きと過ごせるようにする。
- ・失敗しても大丈夫という安心感を与える。
- ・支持的風土づくりを推進する。
- ・安心して自己表現できるように取り組む。
- ・学力面に関して「分かった、できた」を実感できるよう授業等での工夫をしていく。
- ・同僚性の高い組織を目指す。

【並木中】

- ・昨年度は「自ら考え判断し行動できる生徒の育成」を目指し、教員が「自己調整力」をキーワードに授業公開を重ね、授業力の向上を図った。
- ・並木まつりでの9年生の出店や作品展示、体育祭での保護者綱引きを実施した。
- ・今年度も昨年度の成果をベースに授業力をさらに引き上げ、子供たちが主体的に学べる授業づくりを進めていく。
- ・今年度は、哲学対話も計画的に行っていく。
- ・並木まつりは、9年生に加え、8年生も参加する。
- ・昨年度熟議で要望が多かった「持久走大会」を復活させる予定である。

質疑応答なし ⇒グランドデザインの承認

(2) 熟議

テーマ「地域と学校で連携してできることについて」

- ・6グループに分かれて熟議し、その後、各グループから発表した。

(3) その他

【根津委員】

- ・授業参観の時間がもったいない気がする。通常の学校の公開には積極的に参観して、CSの時は熟議だけの方がよいと思う。
- ・並木まつりについての紹介をする。
- ・休園になっている並木幼稚園跡地について、6月6日（土）10時から並木交流センターにて話し合いをする。並木交流センター等含む跡地に何があったら良いか聞く。

【山中委員】

- ・並木中の哲学対話で、並木地区に何が欲しいかを対話してほしい
- ・CSに中学生が参加しているところもあるので、そういう形にしてもいいと思う。

【南会長】

- ・授業参観は悪いことではないが、CSの会議を充実していくために、内容を検討してはどうか。

次回開催予定日等

第2回 7月7日（火）10:00～12:00（並木小）

第3回 9月18日（金）10:00～12:00（桜南小）

第4回 2月5日（金）10:00～12:00（並木中）

7 閉会

会議の様子をつくば市教育委員会ホームページにアップするが、掲載に差し支えある場合は、事務局まで。

令和 8 年度第 1 回桜並木学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和 8 年 6 月 2 日（火） 10：00～

場所：並木中学校 会議室 B

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明・報告事項

- ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 熟議 テーマ「地域と学校が連携してできること」

(3) その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- ・諸連絡等

7 閉 会

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市教育大綱

- ◆「教え」から「学び」へ
- ◆「管理」から「自己決定」へ
- ◆「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、
みんなが生き生きとした学校～

令和8年度桜並木学園グランドデザイン

いばらき教育プラン

活力があり、県民が日本一幸せな県

茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一
子どもを生み育てやすい県を目指します

桜並木学園教育目標

自ら未来をひらく力の育成
～進んで学び思いやりの心やたくましさを育む学園～

学園のめざす児童生徒像

知

●進んで学び新たな発想のできる児童生徒●

- ・小学校での教科担任制の推進
- ・小中学校教員の連携を通じた学習支援による専門的な知識、技能の習得
- ・保護者や研究施設など地域の教育資源や人的資源を生かした体験活動による探究的な学びの充実
- ・ICT 機器の有効活用で実現する個別最適な学び・協働的な学び

徳

●自他のよさを認め思いやりの心で積極的に周囲と関わる児童生徒●

- ・認め合い、高め合う、日々の人間関係づくり
- ・自己肯定感を高め、自他の価値観を尊重する道徳の授業の充実
- ・「考え、議論する」道徳の時間の工夫
- ・人権感覚を磨く学園フォーラムの実施（児童生徒主体の「いじめ」撲滅推進）
- ・デジタル・シチズンシップ教育の推進（情報モラル・SNS 等）

体

●可能性に向かって自ら鍛えた逞しく行動できる児童生徒●

- ・学校体育の充実（「体力アップ推進プラン」の推進・体育的行事の充実
- ・学校健康教育の充実（がん教育、性教育、食に関する指導、薬物乱用防止）
- ・「いばらきキャリア・パスポート」を活用した系統的なキャリア教育の推進
- ・不登校解消に向けた3校連絡協議会の充実（S ルーム活用の情報共有）
- ・中1ギャップの解消と中学生のリーダーシップ育成を図る交流活動の充実

地域と共に児童生徒を育む、活力ある学園・学校づくり ～コミュニティ・スクールへ～

保護者・地域と共に
社会に開かれた教育課程

- 児童・生徒・家庭・地域の実態やニーズを把握し、課題を明確にして、規範意識や自主性、社会性を醸成
- 地域人材のコーディネート、3校PTAによる児童生徒の健全育成や学園全体の安全対策、情報交換の実施

◆ 研修テーマ ◆ 自ら考え対話し、学び合う児童生徒の育成～学びの連続性を意識して～

学校の教育力

- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの学習指導の充実（授業規律の徹底）
- ◎『授業改善プラン』は、RPDCA サイクルを計画的に活用し検証（P（計画指導）/4月実施・C（振り返り・評価）/7月、11月実施）
- ・インクルーシブ教育、特別支援教育の推進（合理的配慮に基づく支援の充実）
- ・全教科・領域におけるタブレット端末の積極的な活用
- ・校内研修の充実【地域・外部人材の積極的な活用/教育相談アドバイザー・大学教授】
- ・本物に触れ、学び・感じる体験的・探究的活動の充実（キャリア教育、人権教育等）
- ・幼・保・小・中の円滑な接続と交流の充実
- ・教育の質の向上を目指した働き方改革

家庭の教育力

- ・PTA活動や学級・学年懇談会を通じた教育活動への理解と協力
- ・授業参観や二者・三者面談を通じた児童生徒理解と健全育成
- ・学校行事（儀式・体育・文化・校外活動・奉仕的な行事）における協力
- ・キャリア教育、健康・安全に関する教育等についての情報共有と活用
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」など、心身ともに健康な生活へのアプローチ
- 学校保健委員会での情報共有と活用

地域の教育力

- ・育てたい子供像や共通目標の共有
- ・地域と連携したあいさつ運動、交通安全対策、不審者対策
- ・関係諸機関との連携の充実
- ・地域に根差した学園防災教育の実践
- ・職場体験学習を始めとする地域の教育力を生かした教育活動の展開
- ・コミュニティ・スクールの充実



《桜並木学園章》

